

石油・化学ソリューショングループ



Our Vision

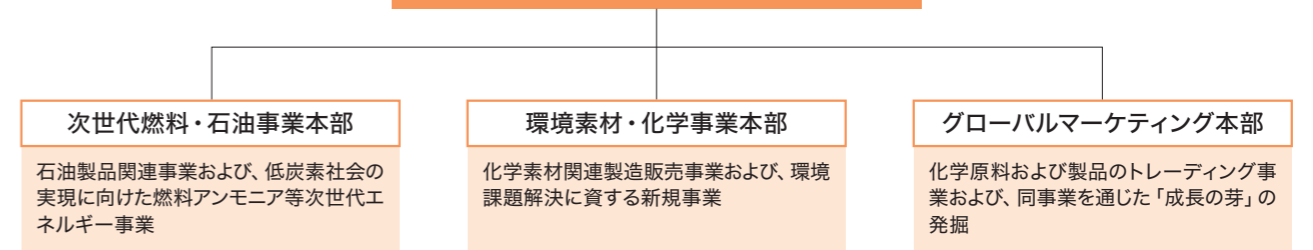


常務執行役員
石油・化学ソリューション
グループCEO

竹内 修身

気候変動や海洋プラスチック問題等を背景として、脱炭素社会への移行や環境負荷低減の重要性は日に日に高まっています。当グループでは、社会や人々の生活に不可欠な石油製品・化学素材の安定供給を着実に果たしながら、脱炭素社会の実現に貢献することを最重要テーマに掲げています。エネルギーおよび素材分野において、経済価値に加え環境価値・社会価値を伴った事業の構想・実行を通じ、社会課題の解決に貢献するグループを目指します。

石油・化学ソリューショングループの組織



マテリアリティ

関連するマテリアリティ



脱炭素社会への貢献



持続可能で安定的な社会と暮らしの実現

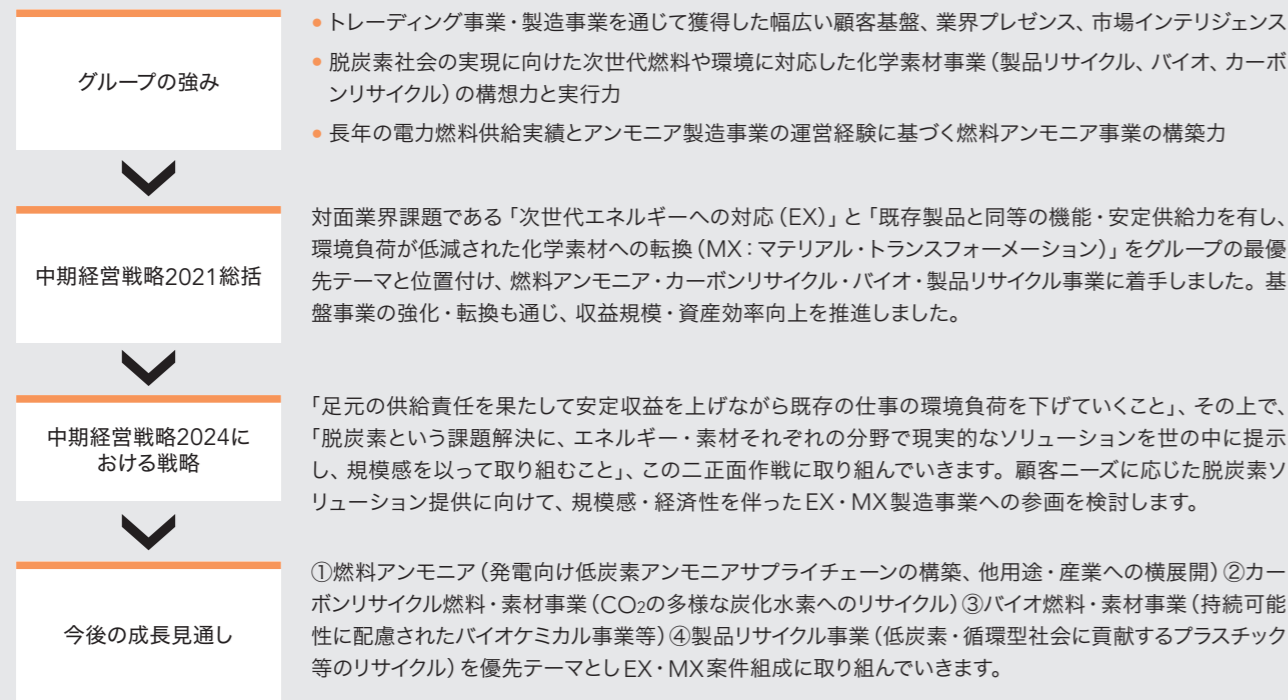


自然資本の保全と有効活用

事業とマテリアリティとの関連性

低・脱炭素化は当グループが対面する燃料・素材分野における最優先課題です。当グループは、移行期における安定供給を通じて社会を支えながら、事業を通じ培ってきた知見や既存インフラを活用し、環境負荷の低い燃料・素材供給の事業化に取り組み、脱炭素社会、循環型社会の実現を目指します。発電燃料においては、クリーンエネルギーとして普及が期待される水素の社会実装に向け、水素の輸送・貯蔵手段として優れたアンモニアを主軸に事業化を検討していきます。輸送燃料においては電化難易度が高いとされる航空燃料の低炭素化に向けたSAF (Sustainable Aviation Fuel) の事業化などに取り組んでいきます。化学素材においては、プラスチックなどのリサイクル事業のさらなる強化に加え、バイオ関連事業やCO₂を原料とするカーボンリサイクル事業の構築に取り組み、循環型社会の実現、規模感あるCO₂排出削減を目指します。

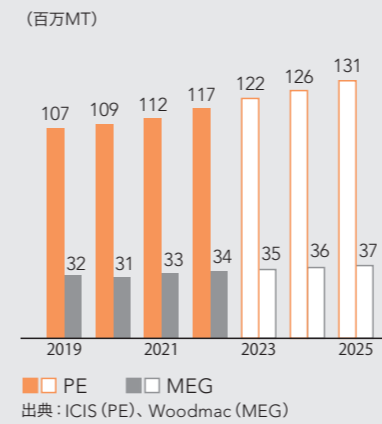
グループの強み・戦略



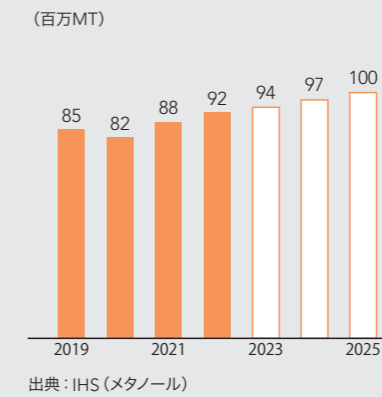
主要な成長ドライバー

需要が堅調な燃料・素材の安定供給を果たしつつ、低・脱炭素社会実現に貢献するソリューションを実行していきます。

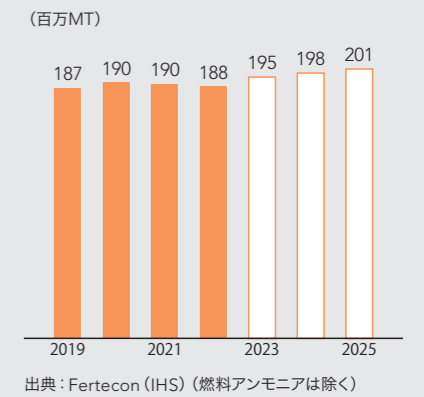
世界のPE/MEG需要



世界のメタノール需要



世界のアンモニア需要



ビジネスモデルの事例

燃料・素材の低・脱炭素化に向けた貢献を果たすべく、以下4つを優先テーマに、規模感と経済性を伴った取り組みを加速していきます。

